

中央大学学員会 第33号 49年白門会会報

発行日 平成28年12月10日(年2回発行)
発行人 山崎 厚 太
発行所 中央大学学員会49年白門会
印刷所 (有)東光美術印刷

東京都港区浜松町1-24-5 第3河原ビル3階 サザンフラックス労務室

49年白門会のホームページ → <http://www.gakuinkai.com/hakumon49/>

49年のホームページから「会員の部屋」に入る際のユーザー名は49nen、パスワードはhakumonです。

49年白門会のメールアドレス → hakumon49@gakuinkai.com

会員の皆様の登録・変更をお願いします。PC、携帯でも可能です。

CONTENTS

- 1ページ ★幹事長交代に当たり 原 伸正
- 2ページ ★2016年総会議案報告
- 3ページ ★2016年総会・懇親会レポート
- 4ページ ★会員からのエッセー「あの頃に戻りたい」
- 6ページ ★友へのメッセージ 照木信久 ★新年会のあじ自慢
★事業部掲示板
- 7ページ ★楽苦我喜 柴田明 ★ホームカミングデー報告
★ビアパーティ報告
- 8ページ ★「デイトの会」設立 ★49年白門ゴルフ会報告 ★編集後記

49年白門会

(題字・葛西聖司)



49年白門会の発足は2000年7月2日の設立総会、それから16年が経過した今年の総会で幹事長に就任しました。2010年から会計を担当してきましたが、今回中島幹事長からバトンを預かり皆様のご協力の許、会の発展のお手伝いができればと思います。

昨年の総会は創立15周年記念総会で参加64名、今年の新年会は58名参加と年々参加者が増えてきているのは実に嬉しいことです。同時に会費収入も増えており、改めて御礼申し上げます。参加者増加は会社を退職した方々が増えて来ていることも一因でしょうし、卒業40年、会創立15周年という節目の影響もありそうです。今年度は山崎会長の提案でいくつかの同好会(現在はゴルフと将棋)が立ち上がる予定です。

私事ですが、今年6月で会社人生

幹事長交代に当たり

49年白門会幹事長 原 伸正

を退き、若葉マークの隠居生活を始めました。今のところ、何とも落着かない毎日ですが時間はたっぷりありますので、会の活動に力を入れていけそうです。

49年白門会は創立時から少しずつメンバーが入れ替わっています。勿論、最初から会を率いているメンバーも大勢いますが、最近入会された方が役員として活躍されています。皆様も是非、会の運営に力を貸して下さい。各種行事に参加された時にも役員に一声かけて頂ければすぐに対応します。49年白門会を益々発展させましょう。

〔閑話休題〕ところで自分では若いと思っても、我々同期は一緒に年齢を重ねる今や前期高齢者です。あまり愉快な言葉ではありませんが、ここで先日高齢者扱いをされた嫌な例を披露します。

我家は外壁塗装の時期となり、契約を結び工事が始まりました。工事の進捗に合わせて支払の請求がきます。地元の銀行だと80円の振込手数料が、ネット銀行に移し替えてから振込むと20円で済みます。80円の差は大きいと、まず、口座から現金を引き出そうと窓口に行く、「身分証明書の提示」を求められ、次に「高額の現金引出しは警察官の立ち会い

でなければできない」と云われまして。「えっ、何で?」まさか、高齢者の振り込め詐欺と思われるのかと聞くと「市内の銀行は詐欺防止のため、一定額以上の引出しはすべて警察に連絡するように協力を求められている」との事。自分の預金なのに、まるで預金封鎖ですわと云うと、銀行員は困った顔をしながらも、「協力を」を繰り返し、絶対に現金は渡さないという決意満々でした。しかたなく警察を呼ぶことにしましたが来るまでに20分、自転車をこいで若いお巡りさんがきました。「何に使つか?」「騙されていないか?」「振り込む会社の名前は?」等々質問が飛びます。我家に来れば工事をしているのが一目瞭然だから、まず我家へ行くこと云々でも、「それはできない、ここで確認をする」、暫く問答の末、自宅に電話して妻に状況を伝え相手の会社の確認をして、取り敢えず高齢者詐欺の疑いは晴れましたが、その間50分のロスタイム。詐欺を減らすには警察と銀行がもっと知恵を絞る実効的な対策立案が必須と感じました。別れ際、お巡りさんは高額の現金なのでくれぐれも気をつけて下さい」と、余計なこと言で周りの人の視線を浴びました。皆さんも

気をつけて下さい。

【49年白門会2016年総会】

2016年7月2日(土)に2016年の総会がお茶ノ水の「お茶の水ホテルジュラク」で50名の会員が参加され開かれました。今年は役員の変更がありました。

第1号議案

2015年度事業報告

- 1・各行事
 - (1) 2015年4月3日(金) 2015年 春のゴルフ大会(17名)
 - (2) 2015年7月4日(土) 総会(お茶の水ホテルジュラク/64名)
 - (3) 2015年8月8日(土) ビバーティ(お茶の水ビバホール/21名)
 - (4) 2015年9月19日(土) 将棋同好会(第1回/7名)
 - (5) 2015年10月25日(日) 第24回ホームカミングデー(47名)
 - (6) 2015年10月26日(月) 2015年 秋のゴルフ大会(11名)
 - (7) 2015年11月28日(土) 明治大学博物館見学&忘年会(17名)
 - (8) 2016年1月23日(土) 将棋同好会(第2回/4名)
 - (9) 2016年1月31日(土) 新年会(レストラン「フリオール」/58名)
- 2・中央大学49年白門会会報発行
 - ・第30号・2015年6月13日(土)
 - ・第31号・2015年12月12日(土)
- 3・中央大学49年白門会役員会活動
 - ・第91回・2015年4月11日(土)
 - ・第92回・2015年5月9日(土)
 - ・第93回・2015年6月13日(土)
 - ・第94回・2015年9月12日(土)
 - ・第95回・2015年12月12日(土)
- 4・会員数

会員総数(277名)/2016年4月1日現在)

2015年度新入会員数(12名)

第2号議案 2015年度収支決算報告について(2015年4月1日～2016年3月31日)

〈収入の部〉		〈支出の部〉	
費目	決算額	費目	決算額
会費収入	413,000	通信費	432,652
懇親会収入	860,000	事業費	362,267
雑収入	103,726	懇親会費	883,382
収入計	1,376,726	事務費	38,827
		交際費	90,000
		雑費	116,708
		支出計	1,923,836
		収支差額	△547,110
		前年度繰越金	628,853
		次年度繰越金	81,743

第4号議案

2016年度予算案

(2016年4月1日～2017年3月31日)

費目	予算額
会費収入	470,000
懇親会収入	700,000
雑収入	80,000
収入の部合計	1,250,000

〈支出の部〉

費目	予算額
通信費	150,000
事業費	250,000
懇親会費	700,000
事務費	30,000
交際費	70,000
雑費	47,000
支出計	1,247,000
収支差額	▲3,000
前年度繰越金	81,743
次年度繰越金	84,743

- (1) 新入会員の増強
- (2) 同好会活動を活性化し会創立20周年、卒業50周年に備える。
- 2・2016年度事業計画(案)
 - (1)「総会・懇親会」
 - (2)「第4回将棋同好会」
 - (3)「ビバーティ」
 - (4)「第25回ホームカミングデー」
 - (5)「2016年秋のゴルフ大会」
 - (6)「日銀貨幣博物館見学&忘年会」
 - (7)「第5回将棋同好会」
 - (8)「新年会」

第3号議案

2016年度事業計画案

- 1・中央大学49年白門会事業基本計画
- 同期相互の親睦・交流を推進するとともに、会のガバナンス強化を図り、会創立20周年(2020年)、卒業50周年(2024年)に向け新規会員の増強活動を行う。

第5号議案

「常任会」「会員増強委員会」の設置

第6号議案

会長に山崎厚太氏(経)を選任

第7号議案

2016年度の運営体制

- ◆新任
- 幹事長 原 伸正(経)
- 会計部長 兼 黒澤義己(法)
- 会員増強委員会副委員長 根本慎一(文)
- 副幹事長 只縄治幸(法)
- ◆再任
- 幹事(広報部) 安室澄子(文)
- 幹事(広報部) 福松征男(法)
- 会員増強委員会委員長 中島章夫(経)
- 会員増強委員会副委員長 高木一成(理工)
- ◆再任
- 副会長 兼 広報部長 大竹力三(法)
- 副会長 葛西聖司(法)
- 事務局長 山崎司平(法)
- 事業部長 益田耕二(法)
- 副幹事長 千葉幸嗣(商)
- 副幹事長 柴田 明(理工)
- 副幹事長 小澤秀敏(経)
- 副幹事長 高橋和幸(法)
- 副幹事長 馬場安徳(法)
- 副幹事長 宮川 保(経)
- 副幹事長 渡邊秀和(文)
- 副幹事長 肥沼敏子(理工)
- 副幹事長 石川晶雄(経)
- 副幹事長 大谷洋一(法)
- ◆任期満了
- 副幹事長 梅田真人(経)

総会・懇親会にリタイア者が 多数出席！ 講演会も開催！

ほとんどの人が前期高齢者の65歳以上となり、リタイア組がぐんと増えました。医学ジャーナリストの松井宏夫さんの「65歳を過ぎる健康について」という講演もあり、健康談議に花が咲いた懇親会になりました。まだまだ元気な幸(高)齢者達です。

梅雨明けはまだ遠い7月の最初の土曜日、「お茶の水ホテルジュニーク」で2016年の総会が開かれた。今年には現役で入学した会員の皆さんが65歳の前期高齢者になる年です。今年には50名の会員が集命。定刻の12時から山崎会長が議長になり7つの議案を審議していきま

2016年の収支予算は原会計部長から報告がありました。今年には役員改選があり、会長には会長選考委員会の推薦で審議された山崎厚太氏が再任されました。また幹事長には原伸正氏、会計部長に黒澤義巳氏、副幹事長に只禰治幸氏、根本慎一氏、安室澄子氏が新任されました。

会員増強委員会を新設

今期から新入会員の増強、同好会活動を活発にする目的で「会員増強委員会」を設け中島章夫氏が委員長に就任しました。中島章夫氏から「具体的な活動方針はこれからです。各年次支部でも、会員の増員は難しいことですので、まず、現会員からクラス・ゼミ・サークル等の旧友に呼びかけをお願いしたいと考えている。一人でも多くの会員が増えるよう努力したい」というお話がありました。また副委員長には高木一成氏と黒澤義巳氏が就任しました。

松井宏夫氏の講演 「65歳からの健康」

総会終了後、会員の医学ジャーナリスト・松井宏夫氏の「65歳を過ぎる健康について」というテーマで30分の講演会が行われました。



好評だった松井氏の講演

「がん予防の15か条」*の食事はいろいろな色のある食品を摂る。*体重はBMIを22〜25に。*運動は1日1時間の歩行と週最低1時間の激しい運動。*豊富な種類の野菜・果物を1日400g食べる。*お酒は飲むならビール中瓶1本。*塩分は1日10g以下。*たばこは吸わない、などの項目について説明されました。

また、BMIは22〜25のチョイ太ぐらいがいい、ピロリ菌は除菌すること、(ピーナッツやピスタチオについて)カビは口に入れないこと、日中しっかり活動して睡眠をとることなど、65歳になった今からでも実行してほしいということをお話していただきました。短い時間でしたが、これからの健康な生活を得るための貴重なお話でした。

社から離脱してしがらみのない49会に入り残留しましょう」という乾杯の発声がありました。講演会の話が効いたのかお酒を控える人もいたようです。料理のほうはお開きのころにはすっかりなくなっていました。開宴から少し遅れて48年会の佐藤愛子幹事長が参加されお祝いの挨拶をいただきました。今回は3名の新入会員が参加され、女性の参加者も3名。テーブルを囲んで話題になっているのはリタイア後の生活、趣味のこと、病気の事などで、今年リタイアする人が多いことが感じられました。

プレゼントは 和歌山県の名産品

宴もたけなわの2時頃からプレゼントの抽選会が始まりました。今年には和歌山県海南市出身で東京在住の杉本和久さんが和歌山県の名産品を持ってきてくださいました。和歌山といえば梅干しとみかん。宮川保さんが掲げるじゃんけんカードでの当選者が決まっています。「ごま豆腐」「ミカンのシロップ漬け」「梅干し」「和歌山ラーメン」「日本酒4本」などが17名にプレゼントされました。特別サプライズで海南市名産

の漆器と紀州御殿(まりも)プレゼント。つまりは参加された4名の女性だけのじゃんけん決戦。48年会の佐藤幹事長がゲットされました。2時40分頃には恒例の「中大節」を落研出身の石川雄雄氏と根本慎一氏のリードで全員が場内を練り歩き、その後応援歌と校歌を肩を組んで歌いました。山崎司平副会長の、恒例(高齢、好例?)の方歳三唱で締めました。

出席者の半数近くが御茶ノ水駅近くの居酒屋での2次会に参加され、その後10名くらいが3次会に向かわれた。時間前に聞いた、お酒はビール中瓶1本という適量は明日から実行ということですね！(広報部)



宮川保さん(右)の掲げるじゃんけんカードに会場は大興奮。



会員からの エッセー

「あの頃に戻りたい」を語る

今回のテーマは「あの頃に戻りたい」ということで、人生で一番輝いていた時代、夢があった時代、あの頃に戻ってやりたかったことなど、今思い出されるあの頃を書いていた皆さまにも胸がキュンとなるあの時がありますよね。

老木

増田勝美（法） 東京都
目黒区

昨年4月19日、50年ぶりに幼き頃の華子と会う機会があった。自己紹介があるまでその女性が誰であるか全く気が付かなかった。私の華子に対する記憶を、50年の時の流れは全く異なるものにしてしまった。

今も、取り分け青き時代、私には誇れるものがなかった。家は裕福ではなく、容姿もして読み書き算盤の世界も華子に誇れるものではなかった。またこの時代、意気地がなく、自己主張することをためらい、華子のことを特別心に抱きながらも、卑屈になり一言も自分の思いを伝えることがなく、故郷を離れた。金はなかったが、駿河台の生活は楽しかった。そこには未来があった。良き先生、ゼミの先輩や仲間との出会い、この場から誇れるものを手に入れ華子に思いを伝えようと思った。だが努力を怠らず、卒業後も先の見えない毎日を過ごしていた。帰省したある時、華子が結婚すると母から聞かされた。この時私の青春は終わりの生き方を見つめ直すことになった。

50年、華子への思いは私の心の中から消え去ることにはなかった。再会から3か月、華子への気持ちは限界を超え遂に張り裂け、「青き日の思い」と迷惑な思いを華子に綴ることになった。

老木にも青葉茂れる時はあった。

昭和49年3月末

長澤 寛（文） 埼玉県
さいたま市

学生生活を終え、希望の教員生活ができるかどうかの連絡を待っていた。あの手紙はあるが現実にはそうならないものどかしさ、それが25日（大学の卒業式）には解消し、28日には教員生活の場所も決まった。

あの3月28日（木）の午後と29日に戻り、下宿させていただいていた家を訪問し、大学4年間の生活を振り返りたい。3年前に定年退職を報告しに行った時、40年前にいつも利用した駅前が様変わりし、下宿近くのマーケットの建物は朽ち果てて無惨な形でそこにあった。何よりも驚いたのは下宿がなくなっていて見知らぬ人の家がそこにあったことだ。そして、教育実習でたった2週間

だったけどお世話になった中学校にも行って、これから始まる教員生活の希望と現実の対処の仕方を教えてもらう。教員生活が始まることになったのを知ったのは春休み中だったし、社会人になる準備で慌ただしく中学校に挨拶にも伺えなかった。

なにしろ、教員1年目は、無我夢中で勝手なことばかりをしていて、経験豊富な周囲の方々に迷惑をかけていた。実習中はあくまでも学生相手であり、社会人になった時、社会人としての教員のあるべき姿とほんのななものを十分に教えていたとき、知っておくべきだったと今になってわかった。でも、中学校も統合されてしまっただけで今は無い。

下宿と大学を4年間通って、寄り道もせずせつかくの東京を深く知ろうとしなかった。あの頃に戻って懐かしい場面と遭遇したい。

最終コーナーは まだまだ先です

岩城和裕（理工） 東京都
足立区

大学時代の4年間は今と比べるとだいぶゆっくりと時間が流れていたような気がします。確かに今でもあ

の頃に戻れたら、違う人生もあったのかなと懐かしく思うこともあります。でも私にとっっては、今の時代をこれまでの人生の中で最高だと思っただけでありません。

何が最高なのでしょう。まずは健康でまだ現役で仕事が出来ること。幸せに思っています。2つ目はふたりの母親が今も元気であることに感謝しております。3つ目は3人の娘たちは元気に巣立ち、妻とはゆっくりにした時間を持つことができようになりました。4つ目として職場で一緒に働いてくれる社員や地域の仲間とは「みんなで力を合わせて頑張っているな」という実感を味わってあります。そして5つ目として長い間仕事で積み重ねてきたことが、お客様の役に立てていることや、うちの会社が必要とされていることがとても嬉しいことです。

今年の春、三女が結婚し家を出て行きました。こっそりと手紙を残し、ちょっぴり寂しい思いをしました。ところがその10日後に、突然私のパソコンに長々と綴ったメールが届きました。「今の会社を辞めてお父さんのところで働きたい」というのです。正直これには驚かされ泣かされました。しかし、いつまでも喜んでばかりではいられません。娘を会社に入れるということ、それなりの覚悟があるなと思ったのです。10人足らずの小さな会社です。一人増えたことで収益が悪くなってしまったというわけにはいきません。今は娘

との二人三脚で悪戦苦闘の日々が続いております。また子離れしていない自分なのかもしれないですね。でも楽しい毎日です。

皆さんもこれまでの経験などを生かして、多方面でご活躍のごとを思っています。人生またまた先が長いです。「49年目開会」では、自分はこの楽しいことや苦労をしている、こんな発見があったなど、今の自分を語り、刺激し合える仲間でありたいですね。

高校1年の夏

石川晶雄（経） 神奈川県
横浜市

高校1年の夏休みにクラスの友人と二人サイクリングで5泊6日の東京から長野の善光寺参ります。それも宿泊は駅待合室や民泊です。以前テレビ番組で有名人が民泊をお願いする「田舎に泊まろう」という番組がありました。それがこれです。行き途中の笹子峠のトンネルが越せずにトラックを停めて自転車も載せてもらいヒッチハイクをしました。

そんな無茶な旅行から帰るとすぐ今度は別の友人と二人で九州一周旅行に行きました。当時九州中の国鉄が3週間乗り放題の均一周遊券という切符があり、限度一杯の3週間九州中を巡りました。この時の宿泊は全てユースホテルでした。結局この夏休みはほとんど家に居ないうちで終わりました。当時我々は東京都学校群第一期生

で、合格してもこの高校に入学できるかが判らない不安の中で、私は志望の高校に入学できた喜びで舞い上がってそんな行動だったかもしれません。こんな調子で遊びについては全くエンジョイした三年間でした。中大に入学して終了しました。

もし今、あの時に戻れたとしても、当時の若さ、いや幼さが無ければあんな行動はできなかったとは思いません。しかし仕事を完全にタイアしたら想い出の地を今度はゆっくり一人旅に出たいと思います。

「50の話!」

新谷真人 (法) 東京都 新宿区

1970年は今から46年前。この年に法学部に入學し、北海道からのこのご出でました。カラオケの「あの頃」ボタンのようにタイムスリップしてみよう。駿河台校舎は、中庭(?)のあるコの字型の建物で、回廊とアーチ形の柱が印象的であった。思えばヨーロッパの大学にひげをうらない校舎だった。

当時はまた大学紛争の影響で騒然とした雰囲気が残っていた。中庭にはしばしば赤、白、青、緑、モヒカンなどのヘルメット学生が集会を開いていた。やがて政治の季節は終わる「祭り」のあと「のけだるさ」で4年間を過ごした。授業にもあまり出ず、サークル活動とも無縁の大学生活だった。たまに学校に出てきても、

一人でぶらぶら神保町界隈をうろつくばかり。彼女もいなかった。故横井芳弘先生の労働法ゼミナルだけは、熱心に参加した。富浦や春日山荘でのゼミ合宿は、大学時代で唯一の楽しい思い出。

勤務先が日本大学法学部なので、神保町は、今でもよく散歩する。パチンコの「人生劇場」は健在だ。食堂の「キッチン南海」「キッチンジロー」てんぷらの「いもや」は、なぜかサラリーマンの行列ができていた。かつては貧乏学生御用達だったはずだが、古書店街のたまたまは変わらないうち、ビールの「ランチョン」もそのままである。すずらん通りの激安酒場「ニュー浅草」は、もうない。中大学院時代に、横井先生門下生とよく飲みきたたのである。

貴陽国際空港 一九九一

加藤正治 (法) 東京都 板橋区

H先輩からの引き継ぎ書はB4の用紙2枚に英語がビッシリ!これからは中国が資源供給国になる。まず貴州省のリン鉱石をトライアルすることが決まっているからよろしく! まもなく我が国初の中国産リン鉱石3千トンが入津。工場から「加藤これぞや」って揚げるんや?」なんと20kg袋15万袋が船にビッシリ! M物産に問い質したところ、「混タミが心配」と言われたので、小袋にして袋をバラで積み込みました?」

さあ大変!パレットや風呂敷状のフレコンを駆使して1週間かけてやっと荷揚げ完了。解袋機なるものを埼玉から山口宇部まで運び、6か月もかかって15万袋を解袋し、テスト生産ができる状態に。その前にZ会にバレルに1進次郎さんが改革を叫んでいますが、Z会に肥料の販売を委ねるシステムカーは原料もZ会から購買する契約にも拘わらず!

これに刺激を受けてか、Z会も中国に本腰を入れ始め調査団を派遣しました。国際空港といっても軍との併用で木造の兵舎等が並ぶだけ。すぐに飛脚のマークが掠れた宅配便が来て手荷物等を集配してから待つこと2時間余。やっと現地ガイドが到着。すみません。すみません。新しい車が牛とぶつかっちゃって! 最貧の省を相手に茅台酒の歪を重ねつつ、品質管理と異物混入防止の格闘が始まりました。

マイケルの猫

脊戸柳良辰 (商) 千葉県 八千代市

先日「漱石」を主人公にしたアレビドドラマを見ていて、昔家で飼っていた猫を思い出しました。家で飼っていたのはトラ猫で、ちゃんと名前があって「マイケル」といきました。「マイケル」は、漱石の猫と同じ捨猫で、今アメリカに住んでいる次

男坊が、小学生の二年か三年の時に、友達と遊んでいて、「ヤブの中に捨ててあって、かわいそうだから拾ってきたよ、うちで飼って」と言って突然家に連れてきたのです。

生まれて半月位。ずいぶん痩せていて、汚かったのですが、とりあえず、その晩は家で面倒をみることに。皆でミルクをやったり、ダンボールの箱の寝床を作ったりしてやりました。かみさんが「家では飼えないから、誰か他の家で飼ってもらって」と次男坊に言ったものの、けっきょく、誰も引取り手がないまま家で飼うことになったのです。「マイケル」は、高い所から飛び降りることが下手で、ドタッと落ちたり、お腹を上にして寝たり、すごく人見知りする、「刺身のダイコンのつま」が、大好きな、風変わりな猫でした。もしかしたら飼い主に似ているのかしらん。そのせいか、初めのうちは迷惑がっていた、かみさんも、長男も、そして私までもが、なぜか、かわいがってしまいました。

当時としては、長寿で、18才まで生きました。その後、今日に至るまで猫は飼っていません。でも、次男家族が帰ってきたら、あの頃のようにまた猫を飼ってみたいかなと思いました。

昭和39年 中学一年生

小澤秀敏 (経) 東京都 府中市

ピンポイントで言はば昭和39年中

学一年生...一番輝いていたあの頃。入学してすぐの5月に陸上競技会があり、砲丸投げに出場することになった。生れて初めて触った砲丸だったが、練習したら少しは飛ぶようになってきた。そして本番ではなんと学年新記録を樹立、優勝した。翌年は連覇、しかし3連覇を目指した三年生の競技会当日の朝、別のクラスの女子から手製の鉢巻をプレゼントされたせいで動揺、3連覇は夢に終わった。平成9年、卒業30周年の同期会にはその女子が名古屋から会いに来た。

一年生の9月、中央線阿佐ヶ谷駅近くにあった中央大学のプールでは、水泳部の私は百メートル平泳ぎに出場して決勝に進出、中学一年生の部で7位になった。帰路、国分寺駅前の中華料理店で水泳部顧問の先生が中華料理をお腹一杯食べさせてくれたことは、今でも忘れられない。

そして12月24日、クラスの仲の良い男女10名でクリスマスパーティーを友人宅で行った。好きな人は誰かなどという話で盛り上がり、ものすごく楽しかったので、どうしてでも書き残しておきたくなり、その日から日記をつけ始めた。年に1冊だが、13冊までつけ続けた。

中央大学を卒業して40余年、中学一年生の時に『中央大学』のプールで泳いだことが縁で、『大学は中央』になり、附属高校への進学に結びついたような気がしている。

友への メッセージ

ジャズ・トランペットとの出会い

照木 信久(理工) 神奈川県 横浜市

した。

600名満席になります。プロのゲスト
ジャズマンのお陰です。

私には国分寺のリオン株式会社に入社し、直ぐに貿易部に配属され、30年間世界を飛び回っていました。米国では展示会場のホテルでお客様、プロ・ジャズマンとジャムセッション、バンコクではホテルのラウンジで演奏していたジャズマンに誘われダウンタウンの酒場での飛び込み演奏などは良い思い出です。



ステージではスイングに酔いしれる

4年前に脳梗塞で倒れましたが、奇跡的に黄泉の国から蘇り、皆様からの贈り物だと感謝しております。「萬恩に生かされる身の百恩を知る、せめて一恩に報ぜん」。これからの余生はゆったりゆっくり、恩(音)返しです。

トランペットのお陰で老若男女、プロ・アマの音楽仲間、他多々の皆様と楽しいお付き合いをしております。これからも素晴らしい絆を大切にトランペットとホラを吹き続けたいと願っております。よろしくお願いたします。

卒業後すぐにスイング・クリスタル同期、明大などのジャズ仲間と共にマンデー・ナイト・ジャズ・オーケストラを創立しました。あれから42年経ち、レコードは1回、CDは3回制作し、香港、ローマへ演奏旅行にも行きました。

昔から上手くないですが、現在も年に10回ほどステージで演奏しています。11月末の新橋ヤクルトホールでのリサイタルは例年親戚・友人で

出合いとは不思議なものです。たまたま一年前、私は学員会国分寺白門会の副支部長として小金井白門会の総会に出席し、49年白門会の後藤様に誘われ49会の会員になりました。私とトランペットとの出会いも同様です。中学・高校時代は「男は剣道」でした。高校2年のクリスマス、イタリアのトランペッター、ニ・ロソンの「夜空のトランペット」をテレビで見ると人生が変わりました。瞬間的に「男はトランペット」に宗旨変更。翌日親からお金をもらい道玄坂のヤマハで1万5千円のトランペットを購入。練習は自宅及び隣の馬事公苑で行い、馬が逆立ち、騎手に怒られたこともありました。

大学の軽音楽部にも入ろうと思いましたが、駿河台の新生・クラブ勧誘で音楽研究会・スイング・クリスタル・オーケストラに入部してしまいました。1946年創立の名門ビッグバンドでした。

後楽園、理工学部にある音研練習所の初見学はショックでした。男ばかり50名、そしてビッグバンドのダイナミックなサウンドに体が震えま

新年会の あじ自慢

新年会の景品は千葉県産のお土産に決定!!



◎亀屋の「鯛せんべい」
鴨川シーワールドに行った方ならご存じ、鴨川市鯛の浦にちなんだ煎餅です。

◎亀屋の「タコせんべい」

香ばしいタコの風味とピリ辛な味が私達の年代にマッチし、お茶うけには最高です。勿論、焼酎にも最適。他にも「なごみの米屋の羊羹」、「かっこの角煮」、「ピーナッツサブレ」等用意して、皆様のご参加をお待ちしております。(事業部・千葉幸嗣)

事業部揭示板

新年会

日時 平成29年1月28日(土)

12時~14時

場所 「レストラン プリオール」

東京都代田区神田駿河台3-11-5

中央大学駿河台記念館1F

TEL 03-3219-6085

会費 6千円

らくがき 楽苦我喜

柴田 明 (理)
東京都 杉並区

犬がもたらしてくれる人の輪

犬との最初の出会いは妻が近くの喫茶店に行っていた時、隣の客の犬が吠えもせず大人しくしていたので、その種類を聞いたのが切欠で飼う事に。そこはペットOKの喫茶店でした。犬の種類はシースー、その人の紹介で飼育所(フリーダー)へ夫婦で見学に行き、仕草が可愛いオス犬を購入し14年間飼い続けました。

2頭目も私達夫婦と大好きの友達車で見学に行き、この事は又購入、今度はメスのシースーを13年飼育、今年の7月に天国へ。

やはり犬がいたらと思うていたある日、インターネットを見ていたら可愛い子犬の広告が、妻に見せたらすぐにネットで予約し電車での時間掛け見学に行き、3頭目もメスのシースーを購入し目下しつけと世話に追われています。

犬もそれぞれ性格が違うので飼う事も楽しいのですが、近所の散歩や近くの公園で多くの犬を連れて人達と知合い、犬の自慢話、飼い方や病気の事その他諸々の事を話し合ったりして、犬の飼い主同士がいつの間にかコミュニティを作るのも楽しみの一つです。

最近では、インターネットの発達で近所の犬友だけではなく外国の犬友も。というのは、SNSの発達でFacebook、YouTubeやInstagram等で海外とも交流が出来、同じような趣味を持つ人達とちよっとしたやりの取りが出来ます。

現在、時々やり取りしているのは、アメリカ、イタリア、カナダ等の犬友と英語で何とか交流。やり取りの内容は犬の話を中心に天気や食べ物等たわいもない事ですが、英語の勉強も兼ねてなかなか面白いと感じていて、将来にわたって続けばもっと深い話が出来るとは考えています。

第25回ホームカミングデー

2016年
10月23日(日)

開門の8時には100名くらいの席取りの会員が集まっていた。開門と同時に我が49回は会場のステージそばのテーブル6個と椅子29脚を確保。年々席取りは熾烈を極めていくようです。

10時半には大学近くの高幡不動駅に4人の買い出し隊が集合。京王ストアでコロッケ、焼きそば、春巻き等と酒類、ソフトドリンクを買い込み、中大に向かいました。

会場では金飯を購入、八王子支部からはおでんを大量に差し入れてもらいました。また、会員の方からもワイン、ウイスキー、清酒などの差し入れがあり、買って来た総菜は大入りで完成でした。

10時半から9号館で「中大の絆」というイベントがあり益田耕二事務局長が出席しました。2011年の東日本大震災で卒業式が中止となった2010年度卒業生のために、「2010年度卒業記念式典」5年後の再会」が挙行されました。最後は50本くらいの支部旗が壇上前に



集合し、高らかに応援歌を歌って中大の絆を確認しました。テーブルには常時15名くらいの人たちが集まってきました。夫婦1組を加えて41名が参加され、2年続けて40名を超え、来年は更に増えることと思えます。

会場のステージは、抽選会や応援

御茶ノ水でビアパーティ

2016年
8月6日(土) 田中正道(法)

「暑い！これでは何もする気になれない！」こんな気分がさせられる8月6日、暑さを物ともせず、ビールを飲みながら猛暑が、懐かしのお茶ノ水で開かれた「49年白門会

のビアパーティ」に集まってきました。会場は最近、新年会や総会で利用している「お茶ノ水ホテルジュラク」の「あけびの美」というレストランです。ヘルシーな料理のバイキングと十分な種類の飲み放題です。

山崎会長の乾杯の音頭も待ちきれないように、22名の年齢を感じさせない元気な「カンパイ！」の声がか会場に響き渡りました。

会長の挨拶の中にビアパーティも年々参加者が増えているとお話がありました。

アルコールが進むにつれリタイア後の事、健康の事、更には将棋、ゴルフの49年白門会の同好会の楽しさ等々、会場のあちこちで楽しい会話

団とチアガールの演技で盛り上がりました。イベントや展示物を見てみると、私達の学生の頃と違って、学生に海外企業研修をさせたりし中大も国際化が進んでいると感じました。日差しは強く暑かったのですが日陰になると寒くなるほどの寒暖の差が激しい一日でした。4時過ぎにお開きになり来年の再会を約して駅に向かいました。(広報部)

で盛り上がりつつありました。初参加の皆さんもすぐに馴染んでくださり楽しく過ごしておられました。

また安室さん井さんと綺麗なお嬢さんも参加いただき楽しいパーティとなりました。同じ時期に同じキャンパスで過ごしたという経験は何事にも替えがたいこと感じました。

あっという間に時間が過ぎ、原幹事長のご機嫌な中締めで、無事パーティは終了しました。



平日昼間を満喫、「デイトの会」(仮称)を立ち上げ!!

シニアにとって平日の昼間は何かと利用しやすい時間帯。安くて空いているのもこの時間。アルコール抜きて夕飯には帰宅可能な行事を企画していきます。担当は宮川保、井美知子さんのお二人。

前期高齢者と呼ばれる年代に入る49年白門会。仕事の第一線を退かれたり、親の介護、地域の活動に関わったりと、皆様の日常もだいぶ様変わりしたようで、会の行事の出欠掲示板の欠席理由にも変化がみられるようになっていきます。お酒が飲めなくなったとか、土日はむしろ忙しい等々、今までのような会の行事には参加しにくい方が増えてきています。そこで飲まないでも楽しめる行事を企画してみることになりました。



男同士では入れないスイーツのバイキング等も……

自動運転技術車の早期開発を…

東京に住んで45年。高齢化社会を迎え、人工知能(AI)を活用した自動運転技術が注目を集める時代です。都会は公共交通機関が発達しているのに、自家用車は必要ない、と思いつながら、娘たちの希望があって一時車を所有したが、運転は全然楽しいものでなく、怖かった。その経験から自動運転技術の自動車の開発は凄く、何とか素晴らしいことだと思つた。

シニア特典を使えば、ホテルのランチバイキングがお得、美術館や水族館など入場料もお得、ちょっとした体験やご当地グルメを楽しむのも、平日ならすいていて予約もとりやすい。東京メトロや都電の1日フリーパスを使ってあちこち回るのも楽しそう。帰りはラッシュにあわない早めの解散を検討します。

高齢者は外出の機会が多く、会話が量が多いそうです。毎日の散歩コースや買い物も、同じところばかりではだめだとか。日常と違うことをするというのは、緊張感があってよいでしょう。楽しい企画をご用意いたします。持ち込み企画も大歓迎。ちょっとおしゃべりをして、皆さんと楽しいひと時を過ごしませんか。

「デイト」は昼の光。もしくは層間点灯用ライト、周囲に存在をアピールし、世の中にも役立つ存在です。会の名称案があれば1月31日まで事務局にお寄せください。

高齢者としての生活が都会と地方ではどちらが過ごし易いものだろうか。都会派、地方派をそれぞれ意見があると思うが、一番は足の問題だろう。東京での自動車運転が今後開発される自動運転技術車であれば快適なドライブが出来るであろうか。トヨタ自動車の研究開発責任者は、めざすのは「すべての人が安全なスムーズ、自由に移動できる社会の

第15回ゴルフ会

2016年10月24日(月)

快晴無風の下、埼玉県飯能市にある「飯能パークカントリークラブ」に総勢17名が集結。

この会はキャディーさんが付かないセルフなのでお互いのボールを見てないといけない。上手い人もボール探いやフォームの指導などで自分のプレイに専念できないというハンデを負っている。

ハーフを回って食事では「スコアと血圧は右肩上がり」と笑い飛ばす人や、アルコールガソリンを補給して後半のプレイに燃える人も……。

後半も無風快晴の中でプレイを続行。3時過ぎには無事ホールアウト。優勝は今回で2度目の小沢龍次さん、準優勝が黒木兼一郎さんと80台のお2人。このお2人を加えて100を切った人が4名で、20以上叩いた人が7名(!!)とこの会らしい結果。

マレーシアから初参加のタン・ニヤンさんは、福岡県に合弁会社を融合することで、確実に事故は減っていくとの説明。

高齢者の運転による深刻な事故が続いている。運転免許証を一齐に取り上げるのではなく、安心して運転できる車の早期の開発が待たれる。今号から広報部に加わりました。よろしくお願ひします。(福松征男)



持っているのに年に数回日本に来ていという。「このメンバーでぜひマレーシアでプレイしましょう。その時は食事代を全部御馳走します」とうれしい挨拶があった。近い将来、黒木さんの宮崎市のフェニックスカントリークラブでのプレイの後、マレーシアに遠征し、盛大な49年白門ゴルフ会が開催されるかも……。

高木会長から残念な報告があった。この会の発起人のメンバーで発足時から欠かさず参加されていた荻原紀行さんが病魔に侵され入院中だという。荻原さんの快復と中大箱根駅伝の復活とこの会の発展を、懇親会でおなじみの根本慎一さんのリードによる「フレンドリー中大」で締めたい。次回は来春の4月7日(金)桜の季節に予定。皆様のご参加をお待ちしております。(広報部)

今号からの広報部員は左記の通りです。
大竹力三(法) 柴田 明(理工)
高橋和幸(法) 千葉幸嗣(商)
原 伸正(経) 福松征男(法)
宮川 保(経) (五十音順)

後編
記集